



「らしさ」は診断の有無を問わず「本人が生まれ持った『その人らしさ（強みや魅力）』の芽を大切に伸ばす」という、特性を前向きに捉えることができるという意味を込めた名称です。

～発達特性気づきと支援のかけはし～

「受診をただ待つ時間」を、
「今日からできる工夫をみつけ、自分らしさをのばす時間」へ。

対象となる方

「これから発達の専門病院を受診しようか悩んでいる方」または「すでに受診予約をして、順番を何ヶ月も待っている方」のための相談窓口です。

広島県内にお住まいの主に乳幼児期～学齢期（小学校6年生）までのお子さまとご家族さま

お申し込みからアドバイスまでの3つのステップ

ステップ1 みつめる	ステップ2 みつける	ステップ3 つなげる
まずはHPや電話等で、お気軽に問い合わせをしてください。おうちや園等での様子をもとにチェックシートにてお子さまの様子を確認させていただきます。	回答内容に基づき、発達相談員がオンラインまたは対面面談を行い、お子さまに合った「具体的な関わりの作戦」を一緒に考えます。	情報をつなぎ、家庭だけでなく、関係機関での実践につなげます。 子どもの状況よりスムーズな医療や地域支援機関の連携につなげます。

「らしさ」が大切にしている3つのこと（事業目的）

1. 診断を「ただ待つだけの空白期間」にしません

現在、発達障害の専門医療機関は受診までに長い待ち時間が発生しています。「らしさ」は診断という「結果」をただ待つ時間をご家庭での「安心の準備期間」に変え、今日からできる具体的な対応アプローチを提案します。

2. 園の先生や保健師さんと「チーム」になります

子どもたちは、慣れた家庭と、教室や園所等では異なる姿を見せることがあります。双方の様子を一緒に見つめ、一貫したアプローチでお子さまを応援できるよう、関係機関との「連携」を必要に応じて行います。

3. アセスメントデータを医療機関へスムーズにボタンタッチ

「らしさ」で実施したアセスメントデータは、保護者さまの同意を得て、受診予定の医療機関（または、他の待機の少ない医療機関）へ事前に共有（ボタンタッチ）できます。これにより、病院でのスムーズな診療に繋がります。

「らしさ」でお手伝いできること

- ・ 対面やオンラインでの面談や、地域へ出向いての移動相談
- ・ お子さまの状態やニーズに即した受診先の助言及び連携
- ・ お子さまの特性や状況に合わせた、地域の身近な支援機関（児童発達支援センター等）へのご紹介
- ・ 待機期間中の、おうちや園所等での具体的な関わり方のアドバイス

広島発達サポートセンター「らしさ」

<https://sup-rashisa.jpn.org>

E-mail : sup-rashisa@f-tutuji.jp

電話番号：082-430-5050（受付時間：平日 9:00～17:00）

FAX 番号：082-427-6280

〒739-0001 広島県東広島市西条町4-14-31 サポートオフィスクエスト内

「ひとりで悩まんと、『らしさ』によってみんないね。いっしょに自分らしさをはぐくんでいきましょう。」

